

平成 26 年政策評価書

千葉県警察重点目標	組織犯罪や匿名性の高い犯罪に対する戦略的諸対策の推進
施策	サイバー空間の安全と安心を確保するための対策の推進
施策目標	サイバー犯罪に対する積極的な取締りと官民一体となった抑止対策の推進
施策設定の背景	<p>サイバー空間は、今や県民生活の一部となり、日常生活、社会経済活動を営む上で必要不可欠な社会基盤として定着しつつありますが、サイバー空間の拡大に伴って、犯罪の多発する新たな領域となっています。</p> <p>これらの犯罪から県民や企業等を守るための総合的な諸対策を強力に推進する必要があります。</p>
実施項目 1	県民や企業等への悪質事犯に対する戦略的な取締りの強化
推進結果 1	平成 26 年中、無料通話・無料メールアプリを利用したウイルス供用及び恐喝事件の検挙をはじめ、ネット通販サイトに対するリスト型アカウント攻撃による不正アクセス禁止法違反等事件の検挙など、悪質で社会的反響の大きい事件を検挙しました。
実施項目 2	ネット安全教室の積極的な開催とインターネット防犯関連団体・ボランティアとの連携
推進結果 2	<p>1 各警察署生活安全課員及び県本部サイバー犯罪対策課情報セキュリティ・アドバイザーによる各種学校、企業、自治体、地域住民等を対象とした出前式講話「ネット安全教室」を積極的に開催し、県民がサイバー犯罪の被害等にあわないよう、インターネットに関する規範意識及び情報セキュリティ対策に関する知識の向上を図りました。</p> <p>2 サイバー犯罪対策ボランティアであるサイバーウォッチャーを県民から公募して委嘱し、インターネット上の違法・有害情報に関する通報を行う、いわゆるサイバーパトロールを行うなど、ボランティアとの連携を図った活動を行いました。</p> <p>3 ネットバンキング不正送金事犯に対する迅速的確な対応を図るため、県内に本店が所在する 12 金融機関と、サイバー犯罪に対する通報促進、積極的な事件解決、被害拡大防止措置等を定めた「サイバー犯罪共同対処協定」を締結しました。</p>
実施項目 3	広報啓発活動の推進

推進結果 3

毎年2月に政府が主催する「情報セキュリティ月間」に伴う取組の一環として、FMラジオ局ベイエフエムに出演しているフリーアナウンサー「きゃんひとみ」さんを一日サイバー犯罪対策課長に委嘱しての広報啓発活動を実施したほか、音楽隊による広報演奏等のサイバー犯罪抑止キャンペーンを実施しました。

実績（成果）

1 平成26年中のサイバー犯罪取締り状況

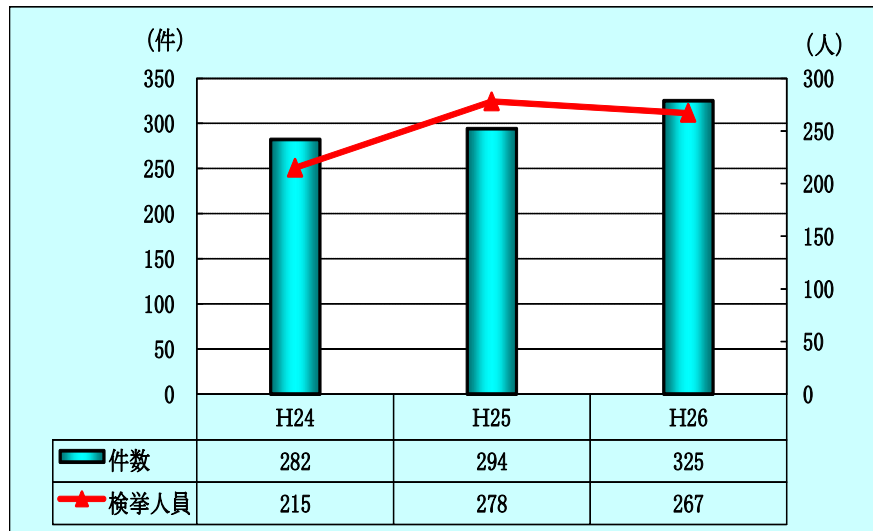
検挙事件数		検挙人員	
件数	前年比	人数	前年比
325	+31	267	-11

2 平成26年中のネット安全教室実施状況

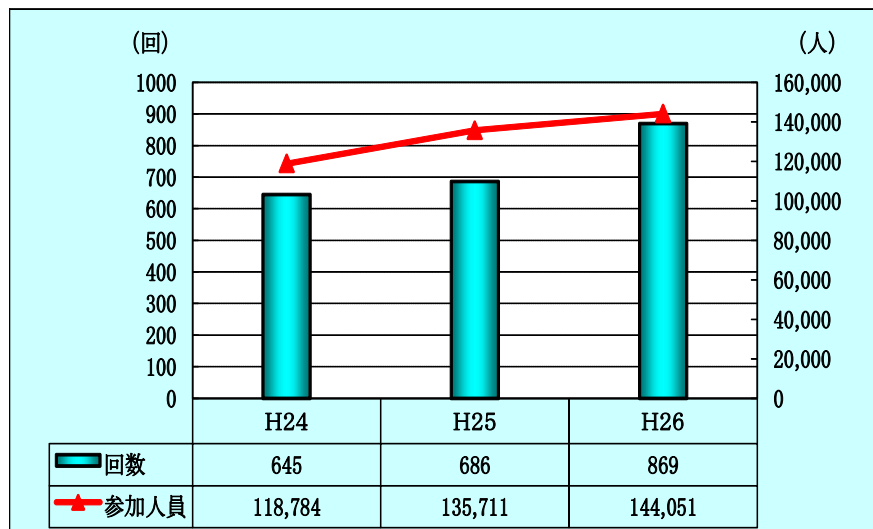
	企業等	教職員	小学生	中学生	高校生	大学生	合計
回数	242	47	342	152	61	25	869
人数	16,002	1,965	49,405	43,288	27,136	6,255	144,051

実績（成果）指標

【サイバー犯罪事犯検挙件数】

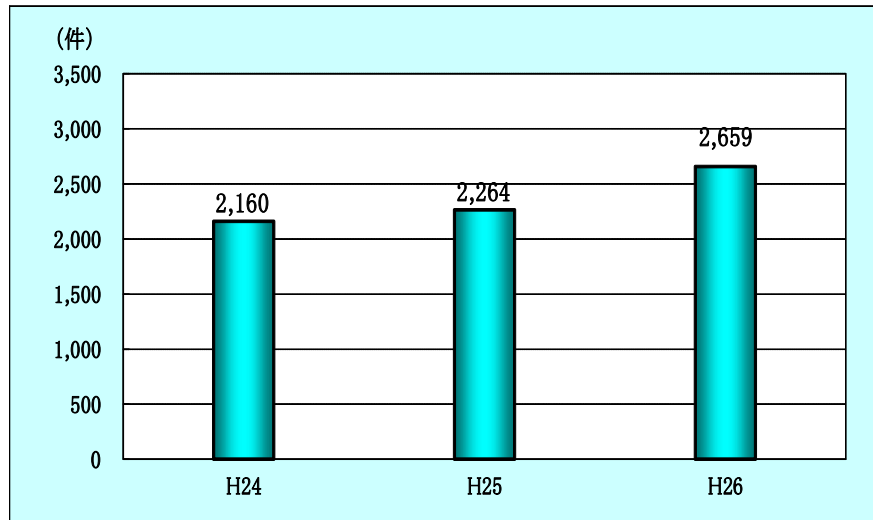


【ネット安全教室の実施状況の推移】



参 考 指 標

【サイバー犯罪相談受理件数】



効 果

各種学校や企業・団体等からの要請に基づいて開催しているネット安全教室は、実施回数および受講者数が年々増加しており、インターネット利用に関する規範意識や情報セキュリティに関する知識の向上により、安全なインターネット利用環境に対する意識が県民に浸透しつつあります。

今 後 の 課 題
及 び 方 針

- 1 課題
(1) サイバー犯罪は、年々、悪質・巧妙化しており、新たな手口が次々に出現していることから、県民がサイバー犯罪の被害にあわないようにするため、常に最新の情報を取り入れたネット安全教室を開催するとともに、広報啓発活動を継続して推進する必要があります。
(2) サイバー防犯ネットワークをさらに活性化させ、各協議会、行政機関、学校が持つサイバー犯罪に係わる情報を互いに共有し、総合的な抑止対策を推進する必要があります。
- 2 方針
引き続き、積極的なネット安全教室の開催や、関係機関・団体等と連携した広報活動を推進するとともに、今後もサイバー犯罪に対する取締りと抑止対策を強力に推進していきます。

施 策 主 管 課
政 策 評 価 担 当 課

生活安全部サイバー犯罪対策課
生活安全部生活安全総務課